

東港金属株式会社
東京都大田区京浜島2-20-4
電話 03-3790-1751
URL <http://www.tokometal.co.jp>
(見学受付)
電話03-3790-1751 又は 各営業担当

今年もツバメはやってきました。古巣を忘れず東日本の震災地に戻ったツバメはどうしたでしょう。帰る古巣ががれき化していることに戸惑ったのではないかと想像しますが、きっと被災者と同じように、たくましく新しい軒下を探し、被災地の空を滑空していると想像できます。



震災地のがれき処理について、政府は現行制度を見直して国の直轄事業にするこの検討を始めました。専門業者を含めてオールジャパンの総力を挙げないと、適正な処理は容易ではないと指摘、工程表などの処理指針が作成されて、復興へ向けて可能な限りリサイクルすることをめざしています。

また東京緊急対策2011でも、東京都が被災地からの要請に応え、都内自治体や民間と共同で、3年間で約50万トンの災害廃棄物を処理施設で受け入れ、被災地の早期復興に繋げることを決めたとの報道です。残された資源を少しでも多く再資源化して利用できるよう、東港金属も出来る限りのお手伝いをしてまいります。

★羅針盤

鉄スクラップ → 考察) 5月は28日時点で月初から4,000円/トン下落し35,000円/トンにまでなりました。6月は、先日2011年度の粗鋼生産見込みが1億1000万トン(昨年同様)と示されたことから、現在が底値と思われる。今年半ばから需要が増えると思われるので、6月は上昇に転じると予測しています。

銅 → 考察) 5月はGW後から急落しましたが、28日時点では何とか持ち直しています。しかし、米労働市場の低迷、米国GDPが予想以下など世界経済の不安要素もあり、上がる材料が見当たりません。6月は上げ下げを繰り返す、横ばいと思われる。高買注意でしょう。

アルミ → 考察) 銅と同様で5月はLME2,770ドル/トンでスタートしたものの、28日時点では2,600ドル/トンに割り込むまで下がりました。二次合金メーカーは上物の買いを控えるなど需要は高まらず、6月は下がると考えられます。

プラスチック → 考察) 原油が5月中旬に一時的に下がりましたが、下旬は持ち直したため為替にも左右されますが、下げては来ておりません。しかし上昇の機運も見えないことから6月の変動はないと思われる。

4月予測の自己評価

鉄スクラップ	○	アルミ	×
銅	○	プラスチック	○

鉄・非鉄スクラップ・市況からの6月予測

営業部 Y の考察



★羅針盤

都市鉱山

(小型家電処理の一考察)

今回のテーマは「都市鉱山」です。「都市鉱山」という言葉は、東北大学選鉱精錬研究所の南条道夫教授が1988年に発表した論文で始めて登場しました。廃棄された工業製品(一般的には電子電気機器類)の中にある有用金属を資源として見直そうという発想から生まれたとのことですが、今では廃棄された機器に限らず、これから使用済みとなる機器に含まれる物も含めて、有用な鉱物として採掘することが必要とされています。

鉱山といえば険しい山中の地下深くのいわゆる地下鉱山を思い浮かべますが、都市鉱山の在り処は人口の集中する都会そのもので、地下鉱山よりも有用金属の含有率や埋蔵量が優位であると言われております。ここで世界の金属埋蔵量を推定し、既に採掘され利用されている金属の総量の割合を推定した結果があります。京都大学の山孝教授が1993年に公表したのですが、水銀の80%、銀・スズ・鉛の75%、金・亜鉛の70%、銅・マンガンの50%がすでに地上で使われています。既に地下鉱山に残されている埋蔵量より採掘された量が多くなった金属種が多くあります。

概して一つの地下鉱山から採掘される金属の種類は限られております。それはその鉱山を構成している鉱物や鉱脈によるものと思えますが、都市鉱山には全種類の金属鉱脈があります。

日本の都市鉱山の埋蔵量について独立行政法人物質・材料研究機構が2008年11月1日に発表した数字があります。これによると、日本の都市鉱山に存在する金の総量は6,800トンで、これは全世界の現有埋蔵量の約16%にあたる。銀は60,000トンで、これは世界の埋蔵量の22%にも及んでいます。同様にインジウムは世界の61%、錫は11%、タンタルは10%と、日本の都市鉱山には全世界埋蔵量の一割を超える金属が多数存在しております。

最近話題のレアアース(希土類)は、電子部品には欠かせない金属として注目を集めており、日本は約20年前から戦略的意図をもって備蓄を行なっておりますが、使用中の携帯電話や小型家電等の機器の中にも備蓄されているとの見方が必要であり、使用済みとなった時点でしっかりとリサイクルを行なうスキームづくりが求められております。リサイクル業界に籍を置く当社も其の一翼を担わせていただいております。

大辞泉(辞書)によれば、鉱山とは、「地中から鉱物を採取する場所や事業所。金山・銅山・鉄山など。」、また、鉱脈とは、「岩石の割れ目を有用鉱物が満たしてきた板状の鉱床。多くはマグマから出た熱水溶液が鉱物を沈殿させてできる。」と解説されており、機器を使うのは人々であり、その人々がよく集まる都市、そこは岩石の割れ目に似た所なのでしょうか、レアアース等の多種の金属を含む機器という鉱石が集合し大きな鉱脈となって埋もれております。近い将来、採掘されることを待っている都市鉱山を、大事に活用していきたいものです。(参考文献 Wikipedi)



京浜島日記

(第7回)

皆さま、早くも東京では梅雨入りしましたが、いかがお過ごしですか? 東日本大震災が起きてからというもの、新聞、テレビを見ていると色々な話を聞く事は減多にありません。確かに色々な状況を鑑みると目を覆いたくなるような状況もありますし、悲観的にならざるを得ないような事象もあるでしょう。弊社においても、廃棄物、スクラップ共に集荷には大変な努力を要する状況が続いています。ただ、一方で今ほどの変革のチャンスはないとも思っています。我が国にとっては、リーマンショックとは比較にならない程の危機的状況だからこそ、人間の真価が問われ、一方でチャンスもあると思えます。

当社では「挨拶実習」というものを今更ながら始めました。工場における大きな声で挨拶・お辞儀を繰り返し、誰か一人でも出来ていないと全員でやり直しています。お客様への挨拶の予行練習でもありますが、工場内作業工程における仲間意識・ルールの徹底を意識づける意味もあります。平時ではやらなかったかもしれませんが、こういう時だからこそ私も心底からやってみようという気になりました。その他にも、こういう時期だからこそ営業活動のやり方の見直し、土台作りなどじっくりと取り組む事が出来ます。そして皆が沈みがちな今こそ拡大・成長のチャンスもあると思えます。目標を落とさず、問題と向き合って上を向いてみてよいのではないのでしょうか。3月11日以降、坂本九の「上を向いて歩こう」がテレビ、ラジオからよく流れてきました。今まさにそういう時期なのです。

(代表取締役 福田 隆)

★羅針盤

ご存知ですか、リサイクル法(2)

自動車リサイクル法(2005年1月1日から完全施行)

ゴミを減らし、資源を無駄遣いしないリサイクル型社会を作るために、自動車メーカー・輸入業者(自動車製造業者等)、クルマの所有者、関連事業者の役割を定めた法律です。関係者の具体的な役割は以下の通りです。(リサイクル費用は、基本的に新車購入時にリサイクル券を購入する)

